

モニタリング調査頻度の見直し（案）

管理署名	保護林名	見直し案	モニタリング頻度	前回実施	今後予定	理由
愛媛署・嶺北署	石鎚山系 森林生態系保護地域	石鎚山系 森林生態系保護林	5年	H24 H25	H29 H30	・石鎚山系でも近年シカの被害が出ている。
徳島署	剣山植物群落保護林	剣山生物群集保護林	5年	H24 設定	H29	・剣山周辺に生息しているツキノワグマの行動圏に含まれる可能性がある。 ・シカの被害がある。
	鎗戸植物群落保護林	鎗戸シコクシラベ(遺伝資源) 希少個体群保護林	5年	H24	H29	・ニホンジカの食害の影響で、今後、シコクシラベ林が衰退していく可能性がある。 ・シコクシラベは徳島県レッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。
	鎗戸シコクシラベ 林木遺伝資源保存林			H24 設定		
愛媛署	小田深山ブナ 林木遺伝資源保存林	小田深山ブナ(遺伝資源) 希少個体群保護林	10年	H27	H37	・過去の調査から大きな変動がなかった。
	小屋山ブナ 林木遺伝資源保存林					
	滑床山ウラジログシ等 林木遺伝資源保存林	滑床山ウラジログシ等(遺伝資源) 希少個体群保護林	5年	H26	H31	・ウラジログシの稚幼樹が確認されている。 ・シカの被害もある。
四万十署	小筋畝山コウヤマキ 林木遺伝資源保存林	小筋畝山コウヤマキ(遺伝資源) 希少個体群保護林	10年	H26	H36	・コウヤマキの稚幼樹や実生の生育が確認されているものの、過去の調査から大きな変動がなかった。
	梶ヶ谷山モミ 林木遺伝資源保存林	梶ヶ谷山モミ(遺伝資源) 希少個体群保護林	5年	H26	H31	・シカの被害が出ている。
	古屋山アカマツ 林木遺伝資源保存林	古屋山大道マツ(遺伝資源) 希少個体群保護林	5年	H26	H31	・遷移の途中段階にある。 ・病虫害被害の恐れがある。
	佐田山シイ 林木遺伝資源保存林	佐田山ヤッコソウ(シイ遺伝資源) 希少個体群保護林	5年	H26	H31	・草本性のヤッコソウは継続的なモニタリングが必要。
	弦場山ウバメガシ 林木遺伝資源保存林	弦場山ウバメガシ(遺伝資源) 希少個体群保護林	5年	H26	H31	・幼稚樹が育っておらず、攪乱による更新を検討する必要がある。
	鷹取山植物群落 保護林	鷹取山生物群集保護林	5年	H25	H30	・ヤイロチョウ(高知県レッドデータブック:絶滅危惧ⅠA)の生息が確認された。
嶺北署	白髪山天然ヒノキ 林木遺伝資源保存林	白髪山天然ヒノキ(遺伝資源) 希少個体群保護林	5年	H24	H29	・シカによる食痕や樹木への剥皮など被害が広く見られる。
高知中部署	石立山植物群落 保護林	石立山生物群集保護林	5年	H25	H30	・シカ被害の影響が顕著にある。 ・5科6種の希少種(県指定の絶滅危惧種等)が確認された。(メグスリノキ、ヨコグランドノキ、ユキモチソウ、ヤシヤビシヤク、マメヅタラン、ベニカヤラン)
	西熊山植物群落 保護林	西熊山生物群集保護林	5年	H25	H30	・シカ被害の影響が顕著にある。

管理署名	保護林名	見直し案	モニタリング頻度	前回実施	今後予定	理由
安芸署	千本山ヤナセスギ 林木遺伝資源保存林	千本山天然ヤナセスギ(遺伝資源) 希少個体群保護林	P	H27	P	・千本山ヤナセスギ林木遺 伝資源保存林について10年 毎に行ってきた固定調査区 の調査の継続をどうするか と併せて検討。
	千本山植物群落 保護林	千本山人工ヤナセスギ 希少個体群保護林	P	H27	P	
	雁巻山ヤナセスギ 林木遺伝資源保存林	雁巻山ヤナセスギ(遺伝資源) 希少個体群保護林	P	H27	P	
	西ノ川山トガサワラ 林木遺伝資源保存林	西ノ川山トガサワラ(遺伝資源) 希少個体群保護林	5年	H28	H33	・日本での生息地は紀伊半 島と高知県に限られる。 ・IUCNのレッドリスト2000年 版で危急種とされ、高知県 のレッドデータブックで絶滅 危惧Ⅱ類とされている。 ・後継樹がなく、更新が困難 になっている可能性がある。 ・モミ・ツガの後継樹が定着 しておらず、また、シカの影 響によって植物相が劣化し ている。
	魚梁瀬トガサワラ 林木遺伝資源保存林	魚梁瀬トガサワラ(遺伝資源) 希少個体群保護林	5年	H28	H33	
	安田川山トガサワラ 林木遺伝資源保存林	安田川山トガサワラ(遺伝資源) 希少個体群保護林	5年	H28	H33	
	横荒山モミ・ツガ 林木遺伝資源保存林	横荒山モミ・ツガ(遺伝資源) 希少個体群保護林	5年	H27	H32	